

月日 (校時)	単元名	教材名
11月7日 (水) 3校時	比例と反比例	比例をくわしく調べよう
本時のねらい (8/16) ○比例の性質を活用し、問題を解決することができる。		
評価規準 考 比例の関係にある2つの数量を見つけ、比例の性質を問題の解決に用いることができる。 知・理 比例の性質を理解している。		
学習過程	学習活動 (○発問・予想される児童の反応)	キーワード 留意事項・評価
【導入】 10:35	○前の時間の振り返りをペアで伝え合ひましょう。	○前時の学習の振り返りをする。
【展開】 問題把握  課題把握 10:35  ・見通し  ・シラバス ・言語わざ 自力解決 10:43	1 問題を読む。 画用紙 300 枚を、全部数えないで用意する方法を考えましょう。 【気が付いたこと】 ・比例が使いそうだ。 ・1枚の重さをはかっ ・10枚の重さだとどうかな。 2 課題を把握する。 比例の関係を使って、画用紙の枚数から重さを求める方法を表や式、言葉を使って説明しよう。 ○見通しをもつ ・1枚の重さを計算して全部の重さを出したらいい。 ・10枚の重さをもとにして、何倍になっているのか考える。 自力解決(10分)・全体学習(分)・まとめ(分)・振り返り(分) 「キーワード(算数用語)を使って説明する。」 ○1枚の重さを計算して全部の重さを出す。 $73 \div 10 = 7.3$ $7.3 \times 300 = 2190$ A.2190g 1枚の重さを出すと $73 \div 10 = 7.3$ で1枚の重さが7.3gということが分かる。300枚あるので、 $7.3 \times 300 = 2190$ になり、答えは2190gになる。 ○10枚の重さをもとにして、何倍になっているのか考え計算する。 $300 \div 10 = 30$ $73 \times 30 = 2190$ A.2190g 10枚から300枚まで30倍になっているので、73gも30倍して計算できる。 $73 \times 30 = 2190$ になるので、答えは2190gになる。 ○決まった数を求める。 $10 \times \square = 73$ $\square = 73 \div 10$ $= 7.3$ (決まった数) $300 \times 7.3 = 2190$ 3 班学習を行う。なぜその式になるのか考え、まとめる。 ○解き方を班で話し合い、ホワイトボードにまとめましょう。表も書きましよう。 ・比例の考えをもとにすると、10枚から300枚まで何倍になっているのか調べると、73gを何倍にすればいいかが分かる。 ・表からも分かるように、10枚から1枚になるには $\frac{1}{10}$ 倍されているので、73gも同じように $\frac{1}{10}$ 倍すれば1枚あたりの重さが分かる。1枚あたり7.3gなので、 $7.3 \times 300 = 2190$ になる。 ・この比例のきまりは普段の生活の中でも使いそうだな。 ・xの値が2倍、3倍…になるとそれに伴って、yの値も2倍、3倍…になるのと同じで、xの値が□倍になると、yの値も□倍になることが言える。決まった数を使い、 $y = \text{決まった数} \times x$ の式が成り立つ。 4 まとめる 比例の関係を使うと、画用紙を全部数えなくても、枚数を用意することができる。 5 練習問題に取り組む (p.135の1)	比例 $x$ $y$ $x$ が $y$ に比例する時 $y$ が $x$ に比例する時 2倍、3倍…になると $y = \text{決まった数} \times x$ $x$ の値 $y$ の値 $y \div x = \text{決まった数}$  ・ハンドサインチェックを行い、自力解決ができるようにする。 ・自力解決が厳しい児童には、友達の発言をヒントに考えるように伝える。 考 比例の関係にある2つの数量を見つけ、比例の性質を問題の解決に用いることができる。  ・比例の性質を使う場合の手立てとして、問題の所の掲示した表を意識させる。  ・ホワイトボードに表が書けるようにさせる。 ・表を使って、説明できるようにさせる。 このことから <u>～を使って</u> <u>～ですよね</u> <u>これをもとにして～</u>  ・キーワードを使ってまとめをかけるようにする。 知・理 比例の性質を理解している。
【終末】 11:17 ふりかえり	6 学習したことを振り返る。	